

名古屋 ロータリークラブ
Weekly Report

創立 昭和56年3月4日

例会日 毎週水曜日12:30~13:30

会長 伊藤 晋一 幹事 香田 研二

例会場 名古屋東急ホテル 中区栄4丁目6番8号 TEL(052)252-8658

事務局 名古屋市中区栄4丁目6-3岡崎ビル北館2A TEL(052)253-9075

公共イメージ向上委員長 加藤 あつこ

題字 遠藤 友彦

よいことの
ために
手を取りあおう

RIテーマ:よいことのために手を取りあおう

Rotary ロータリークラブテーマ:声を掛けよう、気配りしよう~会員同士で~

例会報告

◆ 本日の例会(第2057回) 2/4(水)

～優良警察官表彰～

スピーカー 愛知県北警察署 署長 加藤 高弘 様

◆ 次回の例会(第2058回) 2/18(水)

～優良消防職員表彰～

スピーカー 名古屋市北消防署 署長 山田 尚功 様

◆ 第2056回例会記録 1/21(水) 晴

司会 足立 陽一郎君

斎唱 RS/四つのテスト

来訪者 国際ロータリー第2760地区

職業奉仕委員会 委員長 加藤 徹 様

出席報告

会員数 21名 前々回訂正 2054例会

欠席会員数 5名 欠席会員 4名中

出席会員数 17名 MAKE UP 0名

出席率 77.27% 出席率訂正 80.00%

会長挨拶

会長 伊藤 晋一

SHINICHI ITOH



本日は、2760地区より加藤 徹職業奉仕委員長様をお迎えしての例会です。後ほど卓話をお願いしております。よろしくお願ひいたします。

さて今年のNHK大河ドラマは久しぶりにご当地愛知の豊臣兄弟の足跡を放映しております。羽柴秀吉とその弟秀長は、尾張中村の貧しい家に生まれ、秀吉は少年

の頃、家を出て商売なども経験した後、織田信長に仕えるようになります。秀吉に続き織田家に仕えた秀長は、兄の片腕としてその活躍を支えたと伝えられています。秀長は、良い行いも、悪い行いもほとんど目立ちませんでした。これは、秀吉の補佐に徹し、与えられた任務を懸命に果たしたということではないでしょうか。

さて中村区には、豊臣秀吉の生誕地に創建された豊國神社、1600年頃加藤清正が秀吉生家跡といわれる場所に建立した寺院常泉寺があります。境内には秀吉生誕の際に産湯として使ったと伝えられる井戸もあります。是非お時間がありましたら、中村公園あたりを散策してみてはいかがでしょうか。

職業奉仕月間卓話

スピーカー 国際ロータリー第2760地区

職業奉仕委員会 委員長 加藤 徹 様



地区職業奉仕委員長の加藤 徹と申します。

あまロータリークラブより出向しております。

ロータリー歴は16年、地区出向は4年目になります。

出向するまで、職業奉仕はロータリアンにとってとても大切なものだと先輩方から聞かされてきましたが、具体的な内容については、明確な答えをいただけないままでした。地区出向が決まった時、「やっと答えを教えてもらうことができる」と思ったのですが、地区委員会にも明確な答えはなく、委員会内で勉強しながら模索している状況でした。

そんな中、私の前任委員長より、ロータリアンにとって大切な「四つのテスト」と「職業奉仕」を合わせて考えてみてはどうか、という提案がありました。

委員会メンバー一同、気持ちの中にしつくりと落とし込むことができたため、その考え方を各クラブへお伝えしていくこととなりました。

「奉仕」とは自己犠牲ではなく、関係者皆さんの満足度向上であること。ロータリアンの思いは、すべての人を豊かにしたいということ。すべてのロータリアンが仕事を通じて「人の役に立つ働き」を行っているということです。ホームページ等でも確認できますので、それぞれ自身の仕事を「四つのテスト」に照らして、今一度考えてみませんか。

四つのテストに照らした仕事
奉仕プロジェクト委員長 加藤 昌之 君



私は、建築の仕事を「建物をつくること」だけだとは考えていません。建築を通じて、人が快適に、健康に、安心して暮らせる環境を整え、地域社会をより良くしていくこと。それこそが、私にとっての職業奉仕であり、経営理念の根幹です。

これまでの建築経験の中で、条件の厳しい土地や法規制に直面する場面も多くありましたが、そうしたときこそ建築士の姿勢が問われると考えています。

「難しいから簡単にする」といった妥協はせず、法規制の中で土地の持つ可能性を最大限に引き出すことを大切にしてきました。この考え方は、ロータリーの四つのテストにも通じるものです。

また私は、建築の快適性と健康への影響を重視し、15年以上前から外断熱工法に取り組んできました。

長年にわたるデータ測定を通じて、室内環境が安定し、人が本当に心地よいと感じる空間が生まれることを実感しています。

このような環境は、身体的な健康だけでなく、精神的な安定、いわゆるウェルビーイングにも良い影響を与えると考えています。

こうした考え方を取り入れた建築に本格的に触れたことで、これは社会に広めるべきものだと強く感じました。この建築が普及すれば、医療費の削減や、心の不調を抱える人の減少にもつながると考えています。

一方で、高性能な建築にはコストの課題があります。

そこで補助金制度なども活用し、性能と経済性の両立を図りながら、誰にとっても現実的な建築として成立させる工夫を重ねてきました。この姿勢は、「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるか」という四つのテストの考えにも通じるものだと思っています。

快適性や機能性を追求した結果として生まれる「美しさ」も、建築の大切な価値です。

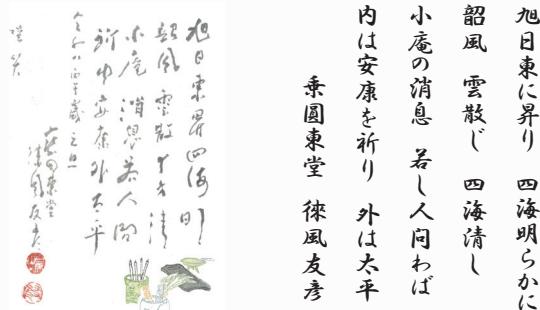
多様な視点を取り入れながら、人の記憶に残る空間をつくる。その積み重ねが、私たちの仕事の誇りです。

これからも私は、建築を通じて人の暮らしと健康を支え、地域社会に貢献することを職業奉仕として実践していくと考えています。

ポール・ハリス・フェロー



遠藤 友彦君 年頭口占



ニコボックス

加藤 徹様 本日職業奉仕のお話をさせて頂きます。

よろしくお願い致します。

梅村美知容さん 今年もよろしくお願いします。

伊藤会長【国際ロータリー第2760地区

職業奉仕委員長 加藤 徹様をお迎えして】

伊藤 晋一君	近藤 朗君	足立陽一郎君	西村 努君
杉浦 定文君	柴山 利彌君	加藤あつこさん	中野愛弓さん
加藤 昌之君	赤星 秀信君	栗山 直人君	梅田 渉君
梅村 篤君	香田 研二君	吉村知紗さん	加島 光君